

都市再生整備計画事業 事後評価シート
大町・川島地区

平成24年3月

石川県穴水町

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	石川県		市町村名	穴水町		地区名	大町・川島地区			面積	67ha		
交付期間	平成19年度～平成23年度		事後評価実施時期	平成23年度		交付対象事業費	351.0百万円	国費率	0.372				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	地域生活基盤施設(イベント広場整備) 大町川島地区街なみ環境整備									
			提案事業	-									
	当初計画から削除した事業		事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
			基幹事業	あなみず商店街ポケットパーク整備	土地区画整理事業で整備される都市緑地などで機能代替			中心市街地の定住人口に関連するが、数値目標は据え置く					
	新たに追加した事業		提案事業	社会実験(シーカヤック街なみ周遊ツアー)、社会実験(ミニかきまつり)、穴水町地区まち歩きマップ作成			能登半島地震の影響により事業中止			海岸散策者数や宿泊施設入り込み客数などに関連するが、数値目標は据え置く			
			基幹事業	町道栄町線、町道瑞源寺線、町道(仮称)下小路北線、案内サイン整備、耐震性貯水槽整備、町道修景整備(今町地内)、真名井川沿い緑化施設整備			能登半島地震被害からの復興と災害に強いまちづくりのため			海岸散策者数や中心市街地の定住人口などに関連するが、数値目標は据え置く			
交付期間の変更		当初	平成19年度～平成23年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-					
		変更	-										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	雪中ジャンボかきまつり(1月)の入り込み客数	人/年	20,000	H17	21,000	H23	モニタリング	評価値	○	あり なし	イベント広場の整備によって開催規模が倍増し、入り込み客数が大幅に増加した。	平成24年4月
	指標2	海岸散策者数	人/日	40	H17	50	H23	-	93	○	あり なし	イベント広場等の整備により散策者が増加し歩いて楽しめる環境が整いつつある。	-
	指標3	宿泊施設入り込み客数	人/年	16,605	H17	17,000	H23	-	5,100	×	あり なし	能登半島地震の影響もあり、宿泊客の減少に歯止めをかけるには至らなかった。	平成24年5月
	指標4	中心市街地の定住人口	人	2,236	H17	2,236	H23	-	2,066	△	あり なし	能登半島地震の影響もあり人口は維持できなかったが、近年は横ばい傾向にある。	平成24年4月
	指標5	穴水駅前地区の建物戸数	戸	19	H17	19	H23	-	11	△	あり なし	区画整理により建物再建が進んだが、被災前の戸数に回復するに至らなかった。	平成24年4月
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	中心市街地を舞台としたイベント開催回数	回/年	4	H18	/		-	12	/	/	まちなか再生協議会などの活動により、多様なイベントが開催されるようになった。	平成24年4月
	その他の数値指標2	中心市街地における自主防災組織数	団体	0	H18	/		-	3	/	/	まちなか再生協議会などの活動により、住民の防災意識の向上が図られた。	平成24年4月
	その他の数値指標3	/											
4)定性的な効果発現状況	・まちなか再生協議会などに参加した市民のまちづくりへの意欲が向上し、能登半島地震による被害からの復興に向けた様々なまちづくり活動を自主的に取り組むようになった。 ・住民と行政、商店主らとの対話の機会が増え、双方の信頼関係が構築された。												
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等		
	モニタリング	-				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					-		
	住民参加プロセス	能登半島地震からの復興に向けて、街なみ環境整備や案内サイン整備などの具体検討のほか、各種復興イベントの企画運営に地域住民が主体的に関わった。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					今後も市民の意見を取り入れながら、各種事業の展開を図っていく。		
持続的なまちづくり体制の構築	地域住民が主体となって平成20年3月19日に「穴水まちなか再生協議会」が発足し、活力再生部会、街並み再生部会、女性部会部の3つの部会組織を設けて具体的な活動を実施している。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					市民の主体的な活動にまかせ、町は後方から支援する。			

様式2-2 地区の概要

大町・川島地区(石川県穴水町) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
【基本理念】 平成19年(2007年)能登半島地震からの復興と豊かな地域個性と賑わいにあふれる、安全・安心・快適で魅力的なまち 視点①:地震災害からの復興とあわせて中心市街地の居住環境の向上を図り、住民一人一人が安全・安心・快適に住み続けられる災害に強いまちづくりを目指す 視点②:穴水の魅力・付加価値を強化し、中心市街地の活性化や賑わいを創出するまちづくりを目指す 視点③:歴史、文化、風土など、穴水で培われてきた地域個性を尊重し、個性を活かすまちづくりを目指す	雪中ジャンボかきまつりの入り込み客数	単位:人/年 20,000	H17 21,000	H23 30,300	H23
	海岸散策者数	単位:人/日 40	H17 50	H23 93	H23
	宿泊施設入り込み客数	単位:人/年 16,605	H17 17,000	H23 5,100	H23
	中心市街地の定住人口	単位:人 2,236	H17 2,236	H23 2,066	H23
	穴水駅前地区の建物戸数	単位:戸 19	H17 19	H23 11	H23
	中心市街地を舞台としたイベント開催回数	単位:回/年 4	H18 12	H23 11	H23
	中心市街地における自主防災組織数	単位:団体 0	H18 3	H23 3	H23



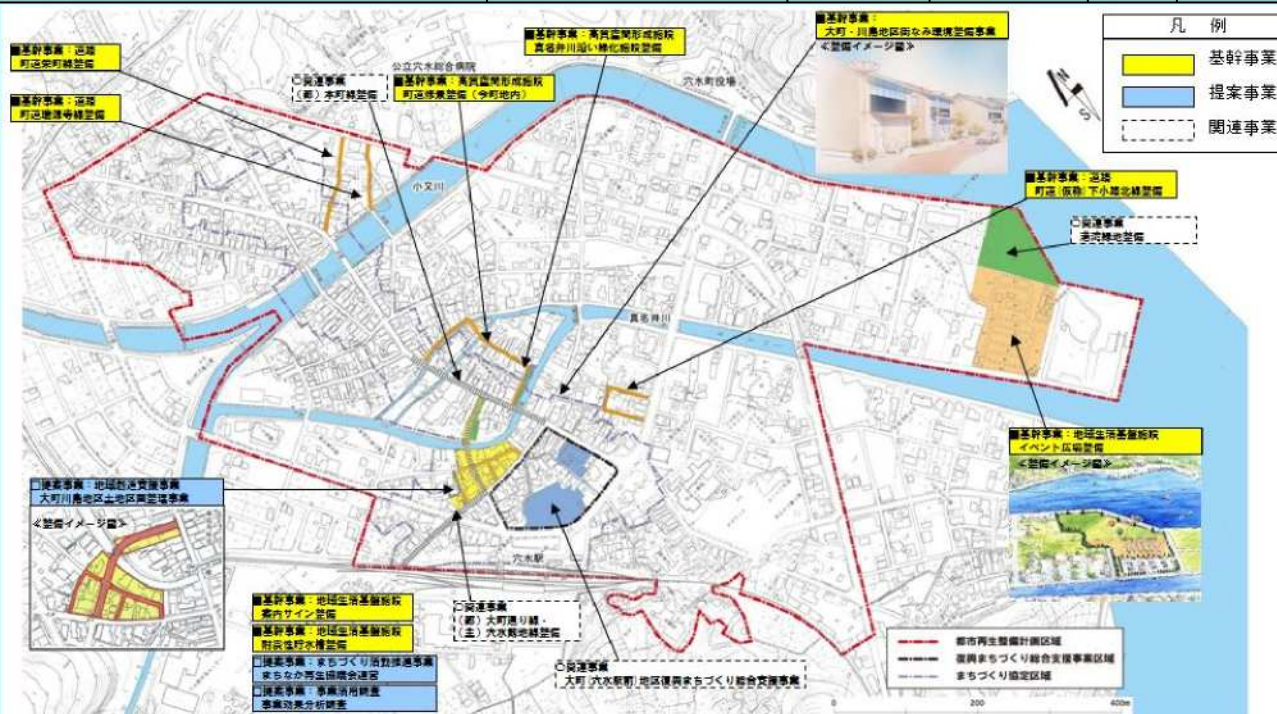
町道栄町線



大町川島地区街なみ環境整備事業



大町川島地区土地区画整理事業



イベント広場(あすなる広場)



耐震性貯水槽



まちなか再生協議会

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 地震災害から住民の居住環境の復興、向上が課題であったが、被害を受けた家屋の再建や都市基盤の復旧が進み、地域住民の生活環境が一定レベルに整えられた。ただし、中心市街地での定住、移住の促進が必要である。 地域の魅力と賑わいの創出が課題であったが、能登半島地震からの復興を目指して、地域住民が主体となって様々なイベントを企画開催し、賑わいの創出につながった。ただし、宿泊を伴う来街者を増加させる必要がある。 穴水らしさを尊重し、個性を活かすまちづくりが課題であったが、能登半島地震からの復興まちづくり活動を通じて、穴水町の個性、魅力が再認識され、町に対する誇りと愛着が育まれた。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 能登半島地震による被災経験を後世に活かしていくため、災害に強い都市基盤づくりを推進するとともに、地域住民の防災意識を維持、向上させていく。 能登半島地震からの復興に向けた地域住民主体による様々なイベント開催などのまちづくり活動を持続的に展開し、住民の地域に対する意識向上、交流人口の拡大も含めて、活力ある市街地への再生に取り組む。 穴水町ならではの魅力ある地域資源を外部からの視点を取り入れながら見つめなおすとともに、町の玄関口となる駅前空間の再生に取り組む。 人口の少子高齢化が進展する中で、中心市街地としての求心力を維持していくために、誰もが住みやすく、住みたくなる居住環境への改善を図っていく。 中心市街地のみならず、町域全体として地域資源の掘り起こし、磨きあげ、PRに努め、宿泊とセットのツーリズムを展開していく。